

2018年1月12日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 Side-Be (No.56)
「女子大生のモバイルバッテリー」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「モバイルバッテリー」について、「大きさ」「機能・性能」「デザイン」「持ち歩き方」の視点から、写真観察法を用いて女子大学生の実態を調査し、写真からわかる女子大生とモバイルバッテリーの関係について調査しました。

※実践『ペルソナ』通信 Be 面とは、写真観察により、女子大学生像を具体的に考察したレポートです。

観察調査結果のポイント

(1)デザインはシンプルなものが多い

ピンクのものやイラストが入ったものもあったが、色は白や白に近いものが1番多く、次に黒が多かった。モバイルバッテリーはデザイン性よりも性能重視で購入されていると考えられる。

(2)サイズは10センチ前後が多い

写真を撮る際に15cm定規と並べて撮ってもらったものを観察すると、モバイルバッテリーの大きさは10cm前後のものが多いとわかった。また、形状はほとんどが四角型で、スティック型もあった。

(3)収納はバッグに直入れ or ポーチ

どのように収納して持ち歩いているのか、収納の仕方の写真を観察したところ、モバイルバッテリーを直接バッグやバッグのポケットに入れている人と、ポーチなどに収納して持ち歩いている人が同じくらいいることがわかった。

(4)コードとモバイルバッテリー本体が別のものが主流

スマートフォンに繋げるコードと一体型のは少なく、コードもモバイルバッテリーと一緒に持ち歩いていることがわかった。

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年佐藤花菜

3年桃井真美子

3年塚原瞳

3年小川清美







